## 様式第4号(英語指導法改善研究)

宜小発 第 2 6 0 号 令和6年 2 月 2 1 日

宜野湾市教育委員会 教育長 仲村 宗男 様

> 宜野湾市立宜野湾小学校 校長 甲斐 達二

# 指定研究実績報告書(英語指導法改善研究)

令	·和 5年	4月19日	宜教指第	1 4	0 号に	よる指定	官研究を	・終了し	まし	たの	で、
下記	このとおり研	<b>F究実績を報</b> 行	告します。								
_	7T 070 111 115 -										ورمات ي
1	研究報告書	• • • • •			• • •	• • •			• •	• •	1 半
1	研究主題										
2	研究主題の	設定理由									
3	研究の主な	内容									
4	研究分课と	課題									
<u>(5</u>	) 外部評価	i <u>※</u> 令和3 <sup>在</sup>	F度より新規	見追加							
2	奴弗の内部	11年21日									1 立7

# 令和5年度 宜野湾小学校の取り組み(指定研究実績報告書)

#### 1 研究主題

異文化に対する理解を深め、主体的にコミュニケーションを図る児童の育成 ~「触れる」「慣れる」「親しむ」外国語及び外国語活動を通して~

## 2 研究主題設定の理由

本校は、宜野湾市の小学校英語教育課程特例校事業によるこれまでの取り組みを活かし、 $5\sim6$ 年生は教科としての「外国語」の実施の他、 $3\sim4$ 年生の「外国語活動」に加え、1、2年生から「英語に触れる・慣れる」ことを目的に、歌やダンス、チャンツ、絵本の読み聞かせなどの活動を通して、楽しく英語に触れさせてきた。その成果として、ALT の発音をまねして楽しく練習したり、ゲームやリスニング、場面設定での会話のやりとりを通して、ALT の先生に英語で伝えようとがんばる児童が増えるなど、楽しく意欲的に活動に取り組むことができている。

一方、外国語を「話せるようになりたい」という意欲の高さは伺えるものの、間違うことを恐れてしまい、学年が上がるにつれ、「話すのが恥ずかしい」「間違ったら笑われる」「頭が真っ白になってうまく聞き取れない」といった理由で外国語に対して苦手意識を持っている児童もいる。

これらのことから、苦手意識を払拭できるよう、低学年から自信をもって外国語に親しめるよう授業の工夫・改善を更に推進してく必要がある。そのためには、ALTと HRTで授業の打ち合わせを綿密に行ったり、研修に積極的に参加して外国語のスキルアップを図ったりして、児童・教職員どちらも自信をもち楽しく外国語に「触れる」「慣れる」「親しむ」ことを目指す。

#### 3 研究の主な内容

- (1) 本校の外国語教育・外国語科のねらいを踏まえて外国語学習(外国語活動)の充実を図る。
  - ① 外国語 (活動) の進め方や学習意義等について、学習開始前に全職員に対し、ALT によるオリエンテーションを実施。 ( $4\sim5$ 月)
  - ② 英語ルームでのルールの確認やあいさつの仕方、掲示物の工夫。
  - ③ T 1 (HRT) と T 2 (ALT) の教材研究・ミーティングの充実。
  - ④ 振り返りカードの具体的な書かせ方⇒振り返りの視点(【what「今日学んだこと」】 【so what 「思ったこと」】【now what 「これから、やりたいこと(活用できそうか)】) の定着。
  - ⑤ クラスルームイングリッシュや基本的なあいさつなど、各学級でいつでも使用できるよう、校内 LAN、Googlechrome、電子黒板、デジタル教科書等を整備。
- (2) 学期毎に複数回の部会(各学年外国語担当)を実施し、成果や課題を検討する。 (6月、11月、2月)
- (3) 英検 Jr. の実施
  - ① 実施期間 : 12月1日(金)~12月6日(水)

- ② 対象学年 : 5年生 (ブロンズ)、6年生 (シルバー)
- (4) 小学校英会話形成的評価の実施
  - ① 実施期間 :  $12月1日(金) \sim 12月15日(金)$
  - ② 対象学年 : 1~4年生
- (5) ALT における今後の行事・研修会
  - ① 指導主事による ALT 英語授業参観①:5月22日(月)2~3校時
  - ② ALT 授業実施に関するアンケート実施:7月
  - ③ ALT·HRT·英語科担当教諭合同研修会:9月
  - ④ 指導主事による **ALT** 外国語授業参観②及び個人面談:10月~11月
  - ⑤ **ALT** 情報交換会: 11月
- 5 成果と課題・対応策

#### <成果>

- ○毎時間ワークシートにめあてと振り返りを書くことで、自己評価をすることができた。
- ○授業形態(個人→ペア→全体)とリズム良く流れていてよかった。
- ○多様なゲームがあり、子どもたちも盛り上がり、英語を楽しく学ぶことが出来ている。
- ○授業や教具の準備等も、ALTが協力してくれるのでとても助かっている。
- ○ALTが英語で指示を出すことで児童が耳で聞き取れる言葉が増えてきた。
- ○授業の流れが(あいさつ、ルール、めあて、ふりかえり)まで決まっているので、授業がしやすい。
- ○単元のゴールまでの計画が毎時間示されるので、見通しをもって取り組めている。
- 〇自分の気持ちや好きなことを英語で積極的に伝えようとする児童が増えてきた。 ( $\mathbf{I'm} \sim ./\mathbf{Ilike} \sim .$ )
- ○1年生のころから同じ授業の流れなので(*Greetings*, the rules, songs, review ~) 子どもたちにもあいさつや初めのやりとりの英語が定着している。
- ○活動を通して外国語に関心を持つことができた。楽しく活動できた。
- ○リトミックが効果的でよかった。
- ○電子黒板などのICT機器を活用して、映像やイラストなど視覚的にみて理解できる 教材を使用したり、ゲームなどの活動を取り入れることで児童も楽しんで参加することが出来ている。
- ○名札を使用していなかったので、活動がしやすかった(なくても良い)
- ○児童の実態に応じてALTが関わってくれるので児童も楽しく安心して参加することができる。

#### 〈課題・対応策〉

- ●英語のスキルが高い教員が少ない。
  - →専科にした方が良いのではないか。
- ●英語が聞き取れない子の苦手意識が強い
  - →様子を見て担任がサポート
- ●シーズンクラフトが少し難しく、時間内に終われないことがあった。
  - →時間内に終われるようにクラフトを易しいものにしたり、事前準備をしたりするな

ど、検討が必要。

- ●振り返りの時間が足りない。
  - →振り返り時間を確保するためのタイムマネジメントを事前の打ち合わせ等で検討する。
- ■ICTの活用(一人1台)について。
  - →普段の授業でも活用したり、どのように活用するのか見本を提示する。
- ●言語活動を行う際、どういう英語を使うのか、何のために活動をするのかが理解しないままスタートしてしまうことがある。
  - →目的意識を持たせてからスタートさせる。教師がモデリングをしてお手本を見せて から活動に入る。
- ●児童同士の英語のやりとりの活動の時に日本語を使ってしまう児童がいる。
  - →教師が間に入ったり、できている児童をお手本にしたりする。
- ●授業の内容を前日までに知らせてもらえると対応しやすい。
  - →ALTと事前の打ち合わせを行う時間を確保する。
- ●学習環境について(英語ルームだと椅子や机がないため、落ち着きや集中力がなくなってしまう。)
  - →学年の実態に応じた教室環境を整備したり、学習のルールを確認したりする。

# <外国語・外国語活動に関する評価>

学校関係者評価 (学校運営協議会による評価)

平均 91.7点

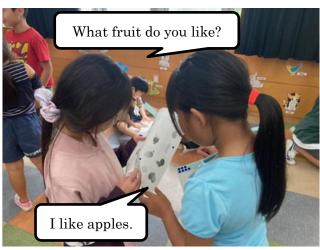
- ①授業参観に参加していないためアンケートデータのみでの意見となります。質問 の仕方が変更されているため単純比較はできませんが、各学年とも肯定的な意見 が多いことが伺えます。引き続き楽しい授業を行って下さい。
- ③1年生は、カードを使ってゲーム化した授業。「よく聴き」「よく見て」コップを取る(早く)。楽しんでいる。6年生もカードを使ったゲーム。(伏せたカードをめくった)カードに書かれた。英文字を読みながら楽しんでいた。「(『グーチョキパー」順序決めの) じゃんけん」も英語に変換し活用している。
- ④国際社会に羽ばたく子どもたちの未来に、身近に学ぶことのできる英語教育、更 意 に日常生活に「聞く・話す」工夫として。「朝のあいさつ」を放送に取り入れるこ とも爽やかな一日のスタートができるのではと感じます。
- 見 ⑥小1、小6年生を参観した。1年生は、コップの早取りから、(遊びの中から)学んでいくのが良かった。全体的に先生の指導が素晴らしい。
  - ⑤授業参観で子どもたちが楽しそうに学んでいる様子が観れ、素晴らしい取り組み だと感じました。
  - ⑧ゲーム感覚で授業が行われ、子どもたちの帰校とする姿や、意味や内容を理解しているところが良かったです。
  - ※①~⑨は、学校運営協議会の委員の意見

### 5 英語活動実践の様子

## 低学年(1,2年生)

低学年では、「英語に触れる・慣れる」ことを目標に学習を行ってきた。歌、ダンス、チャンツ、絵本の読み聞かせなどの活動を通して、楽しく英語に触れさせた。

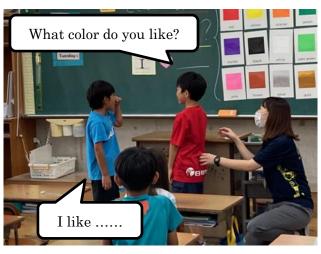














## 中学年(3、4年生)

中学年では、「英語に慣れる・親しむ」ことを目標に教科書 Let's Try の学習を行ってきた。歌、チャンツ、インタビュー、Show &Tell などの活動を通して、基本的な英語表現に慣れさせた。















## 高学年(5、6年生)

高学年では、「英語に慣れ親しむ・英語を使う」ことを目標に教科書 One World Smiles の学習を行ってきた。スキット、インタビュー、Show & Tell、体験的活動を通して、英語表現に慣れ親しませ、楽しくコミュニケーションを図らせた。また、英語を書く活動にも触れ、文字に慣れ親しませた。









